



第74回日本心臓病学会学術集会
ランチョンセミナー23

慢性冠症候群診療における 非侵襲的虚血評価の活用

2026.9.13 日 12:00~12:50

第12会場 (出島メッセ長崎 展示ホール サイエンスボックス1)
〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1

ランチョンセミナーへのご参加には学術集会の参加登録が必要です。お弁当は、数量限定・整理券制となります。
配布方法は、学術集会のご案内をご確認ください。



座長

的場 聖明 先生 京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科・腎臓内科学

演題・演者

ワイヤーレスFFR時代に再考する
心筋シンチグラフィの価値

池岡 邦泰 先生 大阪医療センター 循環器内科

演題・演者

心筋血流シンチグラフィ
～その本質とコンピューター支援診断(CAD)の有用性～

工藤 崇 先生 長崎大学原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学分野

共催：第74回日本心臓病学会学術集会
PDRファーマ株式会社／日本心臓核医学会

日本心臓核医学会 入会案内

日本心臓核医学会は1998（平成10）年10月に発足しましたが、心臓核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり広く循環器病の診断と治療に貢献することを目的としています。具体的な活動としては、年一回の学術大会の開催、心臓核医学会機関誌の発刊、ホームページの開設、学会賞・若手研究者奨励賞の創設などを行い、さらに英文誌Annals of Nuclear Cardiologyの発刊を含めて、心臓核医学の発展のために積極的に取り組んでまいりました。

また、関連学会の日本循環器学会、日本核医学会、日本心臓病学会等と連携を密にし、学会開催中には共催でジョイントセミナー・シンポジウムを開催しております。

心臓核医学の地域別教育研修会は2007（平成19）年から全国を8地域に分けて開催されており、毎年1000人ほどの先生方にご参加いただいておりますが、本冊子はその研修会で使用されるテキストです。本研修会の中で心筋SPECTおよびPETの基礎および各論についての講義を設け検査の意義を学んでいただき、実際に症例の読影を経験いただくことも行っています。

心臓核医学は診断や予後に関するエビデンスが豊富で、治療戦略を立てる上でのゲートキーパーとして非常に重要な検査として位置づけられています。また、多くの画像検査方法が進歩する中でも、虚血を直接画像化し、心機能を評価し、代謝を画像化することの重要性が認識されてきました。しかし、残念ながら本邦では欧米に比べると十分に臨床で活用されているとはいえません。

是非、多くの先生方に心臓核医学検査の有用性をご理解いただくとともに、心臓核医学会の趣旨にご賛同いただき、ご入会を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日本心臓核医学会

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.jsnc.org/>

日本心臓核医学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル

Tel:03-5291-6231 Fax:03-5291-2176 E-mail : jsnc@shunkosha.com